

ばけたくんとハロウィンごっこ

作成日：2025.10.10

対象児：2歳児 ひまわり組

作成者：進藤葵月

ねらい：季節の行事に親しみ、ハロウィンに興味を持つ。



～振り返り～

10月に入り、保育室でも「ハロウィン」にちなんだ会話が聞かれるようになりました。

遊びの中で「トリック・オア・トリート！」と言う子どもがいたり、「おかしあげないとダメなんだよ」と友達に伝えたりする姿が見られた。また、「トリック・オア・トリート！って何？」と不思議そうに尋ねる子どももあり、子ども達の関心の高まりを感じました。

そこで、まずはハロウィンを知るきっかけとして、ハロウィンを題材にした絵本を読みました。絵本を通して「おばけが出てくる！」「おかしもらえるんだね！」と興味を深める子ども達。絵本を読み終えた後には、自然と「ハロウィン～！」と言いながらおかしを配る真似をするなど、遊びの中にもハロウィンの世界が広がっていきました。その後の製作活動では、絵本「ばけばけばけたくん」と読み、自分の好きなお菓子を食べた『ばけたくん』を作ることにしました。アルミホイルにマーカーを使って描いたあと、保育者が霧吹きを使うと、じんわり色が広がる様子を興味深そうに見つめる子ども達。「わあ！いっぱい出てきた！」と笑顔を見せながら、出来上がっていく模様を楽しんでいました。

仕上げて、自分の好きなおやつを選んで貼ると、「アイスがいい！」「ドーナッツ食べてみたい！」と楽しそうに話す姿が見られました。完成した“ばけたくん”はどれも個性豊かで、お部屋吊ってみると「ここに私のある！」「ばけたくんいっぱい～！」と嬉しそうに眺めていました。今回の活動を通して、子どもたちは季節の行事に親しみながら、自分の思いを表現する喜びを味わう喜びを味わうことが出来ました。これからも、子どもたちの興味や関心を大切にしながら、季節を感じられる活動を取り入れていきたいです。

(協同性、社会生活との関わり、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)